



あづみ
安積 むつみ

こうめいとうぎいんだん
公明党議員団

国民健康保険の特定健康診査無料化の考えは

問 国民健康保険加入者の40歳から74歳までが対象の特定健康診査を無料化することで、受診率向上に効果があることが、既に無料化を実施している他市の結果で出ている。現在、医療費の増加に拍車をかけている要因の一つとして、糖尿病の合併症による治療費がある。早期に保健指導や糖尿病の重症化予防を進めることで、医療費の適正化が図られるのではないかと。

答 1人500円（市民税・県民税非課税世帯は無料）の特定健康診査にかかる自己負担額を無料化すると、該当者は約14,000人で、約700万円の費用が必要であると見込まれる。

また、無料化により5%程度の受診率向上が見込まれるが、それにより健康診査にかかる費用も増となる。

特定健康診査を無料化することで、医療費全体にどのような影響や効果があるのかを検討して、総合的に判断していきたい。



●その他の質疑・質問●

- 特定健診の受診率向上に健康マイレージ制度の導入の考えは
- 糖尿病重症化予防の取組は
- 障がい福祉総合プランの地域生活支援拠点および基幹型相談支援センターの整備について
- 認知症の人や家族を支える制度について、徘徊による事故の賠償に公的支援の考えは
- 津市コミュニティバス路線改編について など



▲他市の健康マイレージのパンフレット



たき まさひろ
滝 勝 弘

にほんきょうさんとうつしぎだん
日本共産党津市議団

津北部地域の津波避難ビル等の充実を

問 栗真・白塚地区および河芸地域の海岸沿いは、広さの割に津波避難ビル・協力ビルが少ない。中でも河芸地域は、豊津小学校より北に津波避難ビル・協力ビルがなく、西側の高台等へ避難する際には、近鉄線と国道23号を横断しなければならない。災害時の国道23号の状態をどのように予測しているのか。

また、津波避難タワーの建設が必要と考えるがどうか。

答 国道23号は、平時はかなり交通量が多いが、災害時には、車ではなく、徒歩での避難が原則と考えており、横断については、あまり心配していない。また、警察官や市職員、消防団等の関係者が協力して避難誘導を行うため、市民の方は安全に避難できると考えている。

河芸地域については、津波到達時間から考えて、西側の高台等へ避難できることから、現時点で津波避難タワーの建設が必要とは考えていないが、今後、津波避難ビルの指定条件を満たしている地域内の建物の所有者等に働きかけを行うとともに、新たな建物の建設情報等を見逃さないよう、アンテナを高くして、津波避難ビル・協力ビルの確保に取り組んでいく。

●その他の質疑・質問●

- 水道事業基本計画で、河芸・安濃地域での県水への切り替えが打ち出されているが、安全で安心な水供給のためにも自己水源は貴重であり大切にすべき
- 市役所の残業時間は管理職も含め適正に把握するとともに、残業時の労働環境も保障せよ
- オフシーズンの学校プールサイドに草が生えにくいように、知恵を出し合い研究を など



▲災害時に交通量の多い国道23号をスムーズに渡れるか